

予 算 要 求 資 料

令和7年度3月補正予算

支出科目 款：農林水產業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名【新】楽しく儲かる農業実現支援事業費補助金（R8分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産園芸課 野菜果樹特産係 電話番号：058-272-1111(内4119)

E-mail : c11423@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 357,300千円 (現計予算額： 0千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	357,300	100,700	0	0	0	0	0	0	256,600
決定額	357,300	100,700	0	0	0	0	0	0	256,600

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

「令和の米騒動」、混迷を極める国際情勢など、食料安全保障の重要性がかつてないほど高まっている中、広い県土を持つ本県の潜在力を十分に活用して、県民に安全・安心で美味しい食料を安定的に供給することが求められている。そのため、「地域農業をけん引する経営体」を中心に、「多様な農業を担う主体」が一体となって産地構造を転換させる必要がある。その上で、「楽しく儲かる」農業の実現を通して、食料自給率を確実に向上させる。

これらを着実に実施するため、「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」の推進に資する取組を支援する。

(2) 事業内容

「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」に則して、多様な主体の参画促進に取り組む活動主体、供給力強化や魅力ある農産物づくりに取り組む農業者団体等の農業機械・施設の整備を支援する。

①対象品目 水稻、麦、大豆、雑穀、野菜、果樹、茶、花き、きのこ類

②事業主体

アグリパークを担う主体

農業協同組合連合会、市町村、農業協同組合、農事組合法人、新規就農者

農地所有適格法人、特定農業法人、農業者団体、個別経営体、一般社団法人等

(3) 県負担・補助率の考え方

県1／4以内

ただし、以下の重点取組、実証取組については、それぞれ県1／3以内、

1／2以内

<重点取組> アグリパーク構想支援、新規就農者支援、地球温暖化への適応

<実証取組> 園芸産地づくりに向けた実証支援

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	357,300	産地構造改革に必要な機械・施設等の導入経費
合計	357,300	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- 「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」
4つの基本方針のうち、「新たな担い手の確保」「潜在力をフル活用した生産強化」「安心できる農畜水産業と農村の環境整備」に沿った具体的な取組み。
- 「食料・農業・農村基本計画」（令和7年4月11日閣議決定）
第4 食料、農業及び農村に関し総合的かつ計画的に講ずべき施策

(2) 国・他県の状況

- 国は、「強い農業づくり総合支援交付金」「産地生産基盤パワーアップ事業」等で大規模施設整備等を支援。
- 各県は、国庫事業の要件を満たさない施設の整備等を独自に支援。

(3) 後年度の財政負担

- 県の施策を推進するために、継続が必要。

(4) 事業主体及びその妥当性

- 事業主体：アグリパークを担う主体、農業協同組合連合会、市町村
農業協同組合、農事組合法人、新規就農者、農地所有適格法人
特定農業法人、農業者団体、個別経営体、一般社団法人 等
- 「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」の実現に向け、各経営体の体质改善を進めるものであり、その支援は妥当である。

県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	楽しく儲かる農業実現支援事業費補助金
補助事業者（団体）	アグリパークを担う主体、市町村、農業協同組合連合会、農業協同組合、新規就農者等 (理由)
補助事業の概要	(目的) 「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」の4つの基本方針のうち、3方針に則した多様な扱い手の参画促進の取組や、農産物の供給力強化に必要となる農業用機械・施設整備を支援する。 (内容) 3方針に即した取組に必要な機械・施設等の導入経費の一部を助成する。
補助率・補助単価等	定率 (内容) 1/4以内（重点項目1/3以内、実証項目1/2以内） (理由)
補助効果	導入する機械・施設による新たな扱い手確保、生産性向上
終期の設定	終期 令和12年度 (理由) 「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」の達成に向け、支援を継続する必要がある。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか
「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」に則し、多様な主体の参画促進に取り組む活動主体、供給力強化や魅力ある農産物づくりに取り組む農業者団体等の農業機械・施設の整備を支援し、当県の未来を支える農業・農村づくりを実現する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R6)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
①農業産出額	1,263億円 (R5)	1,373億円		1,305億円	1,469億円	

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	-	-	-

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	指標 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
-------	----------------------------------

令和5年度	指標 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	指標 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」の着実な推進や、市町村の枠を超えた広域的な取組に対応するためには、県の継続的な支援が必要である。
-----------	--

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり）

2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成）

1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%）

0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）

(評価)	
------	--

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)	
------	--

(今後の課題)

今後、食料安全保障の重要性がさらに高まると考えられる中、産地構造の転換を継続して進める必要がある。

(次年度の方向性)

「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」の目標達成に向けて継続的な支援が必要なことから、本事業の継続が必要である。